

グローバルスタディーズ演習Ⅳ

科目ナンバリング SEM-404
選択必修 2単位

田宮 憲

1. 授業の概要(ねらい)

このゼミ(グローバルスタディーズ演習)では、グローバル・エコノミーにおける日本経済の現況を概観し、外需主導型成長を実現する諸政策について学びます。近年の日本経済は、バブル崩壊後、約30年間、成長の歩みが止まっています。そのため、政府は、外国(人)の需要に着目し、輸出振興戦略、海外需要開拓戦略、インバウンド政策等を推進しています。このゼミでは、これら諸政策の実例を検討し、その成否を考察することを課題とします。

実際の授業では、成長産業の動向やクールジャパン戦略、観光客誘致政策等から各自がテーマを選び、主体的に学修を深めます。特に後期では、前期の授業で学修したトピックスの調査をさらに進め、個人テーマを設定して、「卒業研究」をまとめます。その過程で、資料収集・整理、資料の読解、プレゼンの準備、原稿の作成等を着実にを行うよう努力してください。

2. 授業の到達目標

このゼミでは、グローバル・エコノミーにおける日本経済の現況を整理し、特に外需主導型成長に関わる諸政策、諸問題を学修します。その中から個人テーマを設定し、その研究を深めることによって、「卒業研究」を作成することを目標とします。

ゼミは、一方的に授業を受ける場ではなく、主体的に学び、個人研究を深める場です。従って、十分なゼミ活動を実践し、「卒業研究」をまとめる過程で、以下の諸能力を向上させることができます。

(1) 外需主導型成長に重要な政策(輸出振興戦略、海外需要開拓戦略、インバウンド政策等)を説明できる。

(2) テーマに関する資料収集・資料読解を適切に行うことができる。

(3) テーマに関する適切なプレゼン資料を作成することができる。

(4) 大学での学修の集大成である「卒業研究」を作成することができる。

3. 成績評価の方法および基準

(1) 個人課題のプレゼン 40%

(2) 「卒業研究」の提出 60%

プレゼンの評価に関しては、評価規準・基準を記したルーブリック(評価シート)に基づいて、学生同士の相互評価を実施します。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

個人の研究テーマに関して、資料収集、資料の読解・整理、原稿の作成、プレゼンの準備等、授業時間外に作業を着実に進めてください。個人研究の進捗状況を常に確認し、翌週までの準備学修の内容を個別に具体的に指示します。

6. その他履修上の注意事項

このゼミでは、「卒業研究」を提出することが単位認定の要件です。「卒業研究」は、大学での学修の集大成ですから、1年間を通じて、自らの専門性を高める努力を継続的に行ってください。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション及び夏休みの課題の確認
- 【第2回】 夏休みの課題の報告
- 【第3回】 研究テーマの中間報告の準備(1)
- 【第4回】 研究テーマの中間報告の準備(2)
- 【第5回】 中間報告の実施(1)
- 【第6回】 中間報告の実施(2)
- 【第7回】 中間報告の実施(3)
- 【第8回】 中間報告の実施(4)
- 【第9回】 卒業研究の作成準備(1)
- 【第10回】 卒業研究の作成準備(2)
- 【第11回】 卒業研究の発表(1)
- 【第12回】 卒業研究の発表(2)
- 【第13回】 卒業研究の発表(3)
- 【第14回】 卒業研究の発表(4)
- 【第15回】 オンライン授業(LMSによるオンデマンド方式)
ゼミ学修の総括